

令和8年度

町政運営説明会 アンケート集計報告書

邑南町

1 調査概要

項目	内容
説明会開催時期	令和8年2月
アンケート回収数	80件
回答地域	石見・瑞穂・羽須美・その他
回答方法	アンケート用紙（自由記述形式）

2 回答者の属性

(1) お住まいの地域

地域	回答数（件）	割合
石見地域	31	39%
瑞穂地域	29	36%
羽須美地域	9	11%
回答なし	11	14%
合計	80	100%

(2) 年代

年代	回答数（件）	割合
29歳まで	23	29%
30～49歳	9	11%
50～69歳	22	28%
70歳以上	20	25%
回答なし	6	8%
合計	80	100%

3 設問別集計結果

(1) ① 物価高騰対策について 回答数：33 件

「さらなる周知が必要」「分かりやすい説明だった」「商品券など直接的な支援を」「不平等感がある補助もある」など、対策の周知徹底や住民が実感できる直接支援を求める声が目立った。一般的に一定の理解を示しながらも、より効果的な情報発信と公平な施策設計を望む意見が多かった。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 分散型対策は全町民に行き渡るので良い
- ・ さくらカードのポイント還元の取り組みはいい
- ・ 援助していただけるのはありがたい

■ 批判的・懸念を示す意見

- ・ 根本的な解決になっていない
- ・ エアコン補助など不平等感がある
- ・ 住民への周知が不十分

■ 主な要望・提案

- ・ 商品券など直接的な支援を
- ・ 施策の広報強化
- ・ 2億円の使途を明確に

(2) ② 施設の統廃合について（全般） 回答数：38 件

財政状況を踏まえた統廃合の必要性を理解する意見が一定数ある一方、「住民への説明が不十分」「拙速な進め方への不満」が多く見られた。デメリットの解消策の提示や住民説明会の充実を強く求める声が多い。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 維持費が減る観点から肯定的
- ・ 適切な統廃合は必要
- ・ 説明会を行ったことは評価できる

■ 批判的・懸念を示す意見

- ・ 住民への説明が不十分
- ・ 急すぎる計画
- ・ 管理体制の不備が老朽化を招いた

■ 主な要望・提案

- ・ デメリット解消策の明示
- ・ 利用状況の検証を先行させること
- ・ 住民参加型の検討プロセス

(3) ②-1 斎場の統廃合について 回答数：34 件

統廃合自体はやむを得ないとする意見が多数を占める。ただし、「火葬炉の処理能力（重なり発生時）」「遠方になる住民の負担」「待機環境の整備」など、実務面での懸念が具体的に示された。統合前の十分な協議を求める声もある。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 将来を考えると集約はベター
- ・ 統廃合自体に同意
- ・ 委託業者の効率化にもつながる

■ 批判的・懸念を示す意見

- ・ 2基で対応できるか不安
- ・ 遠方になる住民の負担増

- ・ 地元住民への事前説明が不足

■ 主な要望・提案

- ・ 道路整備・アクセス改善
- ・ 待合施設的环境改善
- ・ 利用件数重複時のシミュレーション実施

(4) ②-2 井原診療所について 回答数：28 件

医師の個人的事情や受診者数の少なさから閉院はやむを得ないとする意見が多い。しかし、高齢者の通院手段（交通アクセス）への不安が強く示された。今後の医療体制・地域医療の持続可能性についての長期的視点を求める意見も複数あった。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 閉院はやむを得ない
- ・ 医師不在・利用者少ならば仕方ない
- ・ 必要な判断

■ 批判的・懸念を示す意見

- ・ 身近な医療施設の減少は不安
- ・ 高齢者の通院手段がなくなる
- ・ 地元への説明が不足

■ 主な要望・提案

- ・ バス・タクシー等の交通手段整備
- ・ 将来を見据えた医師確保対策
- ・ 地域住民との丁寧な協議

(5) ②-3 矢上多目的コートについて 回答数：37 件

老朽化・危険性から撤去・解体への賛成意見が多数。ただし「矢上高校ソフトテニス部の練習場として使用されていた」という情報が住民に伝わっておらず、説明不足を指摘する声が見られた。解体後の跡地活用についての議論を求める意見もある。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 老朽化しているので早期撤去すべき
- ・ 利用者も少なく撤去が適当
- ・ 危険性から解体一択

■ 批判的・懸念を示す意見

- ・ 施設管理の不備（維持管理不足）
- ・ ソフトテニス部利用の説明なし
- ・ 跡地活用の議論がない

■ 主な要望・提案

- ・ ソフトテニス部の練習場代替確保
- ・ 解体後の跡地の適切な管理・活用検討
- ・ 腐食進行の経緯説明

(6) ③ 学校の統廃合検討状況について 回答数：41 件

少子化・人口減少を背景に統廃合自体はやむを得ないとする意見が多い。一方で「地域が消滅する」「教育の質低下」「保護者負担増」などの懸念も強く、特に「学校がなくなると地域も衰退する」という危機感が多数の回答に見られた。情報発信の早期化と住民参加型の検討を強く求める声が多い。

■ 肯定的・理解を示す意見

- ・ 少子化の現状から統廃合は必要
- ・ 教育の質向上につながる可能性
- ・ 早め早めの対応を求める

■ **批判的・懸念を示す意見**

- ・ 学校がなくなると地域が衰退する
- ・ 保護者の負担増・通学手段の問題
- ・ 検討委員会への不信感

■ **主な要望・提案**

- ・ 早期の情報公開・説明会の充実
- ・ 住民・保護者を交えた検討の場の確保
- ・ キャンパス校など多様な選択肢の検討

(7) ④ 申告相談の体制について 回答数：32 件

会場集約には一定の理解を示す回答が多い。ただし、高齢者・農業従事者など移動が困難な住民の交通手段確保への懸念が集中した。e-Tax 等への移行促進と講習会開催の要望も複数あった。

■ **肯定的・理解を示す意見**

- ・ 集約することに同意
- ・ e-Tax 普及の流れでやむを得ない
- ・ 業務員の負担軽減につながる

■ **批判的・懸念を示す意見**

- ・ 移動距離が長くなる住民への配慮不足
- ・ 会場減少による混雑が予想される
- ・ 職員の意識・熟練度の格差

■ **主な要望・提案**

- ・ 利用件数に基づいた集約会場の選定
- ・ e-Tax 講習会の開催
- ・ 高齢者向け交通手段の確保

(8) ⑤ 公民館等の体制について 回答数：60 件

全設問中最多の 60 件と最も関心が高かった項目。主事の兼務・引き上げに対して「唐突」「説明不足」「拙速」という否定的意見が圧倒的多数を占め、「住民への十分な説明なしに進めるのは問題」という声が強い。財政的な必要性を理解しつつも、進め方やプロセスへの不満が顕著。4 月 1 日実施の延期・再考を求める声が多数あった。

■ **肯定的・理解を示す意見**

- ・ 財政難の中でやむを得ない部分もある
- ・ 兼務自体に賛成
- ・ チームで取り組む方向性は理解できる

■ **批判的・懸念を示す意見**

- ・ 唐突すぎる。共通認識を図る期間が必要
- ・ 議会にも説明されていない
- ・ 住民・現場への説明が不十分

■ **主な要望・提案**

- ・ 4 月 1 日実施の延期・再考
- ・ 地域運営組織との関係整理
- ・ チーム体制の具体的な説明

4 総括

今回の町政運営説明会アンケートには 80 件の回答が寄せられ、幅広い年代・地域からの意見が集まった。各設問を通じて共通して見られた傾向を以下に整理する。

(1) 財政的な必要性への理解

施設の統廃合・診療所の閉院・公民館体制の見直しなどについて、財政的な観点からやむを得ないと理解を示す意見は一定数存在する。特に若い世代からは「前向きに考えるべき」という意見もあった。

(2) プロセス・説明不足への強い批判

一方、全設問を通じて「唐突」「説明不足」「住民への事前周知がない」という批判が非常に多く見られた。特に公民館等の体制変更（回答 60 件）では、4 月 1 日実施の拙速さへの批判が集中し、「延期・再考を求める」声が目立った。

(3) 交通・アクセスへの懸念

斎場・診療所・申告相談会場の集約いずれにおいても、移動距離が長くなる高齢者・交通弱者への配慮を求める声が多かった。施策の実施にあたっては交通手段の確保を並行して検討することが求められている。

(4) 住民参加・協議プロセスの充実

「住民の声を聞く場が必要」「議会にも説明すべき」「段階を踏んで合意を形成すべき」という意見が多数あり、トップダウンではなく住民との協働による政策決定プロセスの確立が強く求められている。

※今回の調査は、オンライン上と説明会会場で配布したアンケート用紙により実施しました。

報告書の作成については、アンケート結果を集約した後、生成 A I を活用して作成しています。